

事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課 松浦 猛 (関根 茂雄)	内線	4003 (4014)
------	----------------	---------------------	--------------------------	----	--------------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業地区	総事業費	約13億円
		集落基盤整備事業	上津橋地区	内用地補償費	0.9億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
神戸市西区平野町中津			H17	H17	H21

事業の目的	事業内容									
都市近郊の混住化等による土地利用の混乱を回避し、優良農地の維持保全を図るために必要な農業生産基盤の整備を実施すると共に、併せて定住基盤、交流基盤、環境基盤の整備を実施し農業・農村の発展を目指す。	<table border="0"> <tr> <td>ほ場整備 39.0ha</td> <td rowspan="6">負担区分 国50%県27.5%地元22.5%</td> </tr> <tr> <td>集落道整備 350m</td> </tr> <tr> <td>近代化施設(農機具庫)用地整備 1式</td> </tr> <tr> <td>活性化施設(直売所)用地整備 1式</td> </tr> <tr> <td>集落農園整備 2.1ha</td> </tr> <tr> <td>農村公園整備 1カ所</td> </tr> <tr> <td>水辺環境(遊歩道)整備 810m</td> <td>国 50% 県 20%~0% 地元30%~50%</td> </tr> </table>	ほ場整備 39.0ha	負担区分 国50%県27.5%地元22.5%	集落道整備 350m	近代化施設(農機具庫)用地整備 1式	活性化施設(直売所)用地整備 1式	集落農園整備 2.1ha	農村公園整備 1カ所	水辺環境(遊歩道)整備 810m	国 50% 県 20%~0% 地元30%~50%
ほ場整備 39.0ha	負担区分 国50%県27.5%地元22.5%									
集落道整備 350m										
近代化施設(農機具庫)用地整備 1式										
活性化施設(直売所)用地整備 1式										
集落農園整備 2.1ha										
農村公園整備 1カ所										
水辺環境(遊歩道)整備 810m	国 50% 県 20%~0% 地元30%~50%									

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>当地区は、市街化区域に隣接しているにもかかわらず、水稻の他、小松菜、水菜等の軟弱野菜、飼料作物の生産が活発に行われ、その一部はこうべ旬菜として出荷している。生産基盤であるほ場は条里制の遺構が残る小区画で、農道、用排水路も未整備なため、営農に多大な労力を要している。</p> <p>また、混住化やスプロール化が進行し、優良農地や自然環境の保全が危惧されている。</p> <p>こうした状況の中、受益者・市の強い要望を受け、農業と調和した土地利用の調整を図るため、ほ場整備を実施し、農業生産性の向上を図ると共に、集落の良好な生活環境の整備を図る必要がある。</p>
(2)有効性・効率性	<p>費用便益比 B / C = 1 . 27、所得償還率 11 . 9 % であり、事業としての効果が期待でき、農家負担も低く抑えられている。</p> <p>同意率 100% (123戸 / 123戸)</p> <p>地域住民で作成した「上津橋里づくり計画」に即している。</p>
(3)環境適合性	<p>里山、ため池、明石川と繋がる緑豊かで貴重な田園空間に配慮し、大池への取水路には、多様な生物の生息環境を守るため、植生ブロック、魚巢ブロックを用いる。</p> <p>大池から新田開発の遺産でもある林崎疎水沿いには遊歩道を設け、地域住民のみならず隣接する都市住民の憩いの場を創出する。</p>
(4)優先性	<p>都市計画道路玉津大久保線、県道野村・明石線の用地を創設することで、地域の一体的な整備が図れる。</p> <p>無秩序な土地利用を防止し、優良農地を確保する。</p> <p>本事業で住宅用地を創設することにより、都市近郊地域の住宅需要に応える。</p>